



議会だより

いせん

第68号

発行 伊仙町議会

〒891-8293

大島郡伊仙町伊仙1842

事務局 ☎ (0997) 86-3111

編集 議会広報編集委員会

印刷 株式会社美新

阿権小学校1・2年生による議場見学
令和2年11月19日(木)



令和2年第3回定例会(9月8日~18日) 議案・審議・議決結果

議案番号	件名	議員名(議席番号順)													議決結果	
		杉山肇	牧本和英	西彦二	佐田元	清平二	岡林剛也	牧徳久	上木千恵造	永田誠	福留達也	前徹志	樺山一	美島盛秀		明石秀雄
議49	伊仙町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	—	原案可決
議50	伊仙町国民健康保険条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
議51	令和元年度伊仙町上水道事業会計の利益処分	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
議53	令和2年度伊仙町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
議54	令和2年度伊仙町介護保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
議55	令和2年度伊仙町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
議56	令和2年度徳之島交流ひろば「ほーらい館」特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
議57	令和2年度伊仙町上水道事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
認1	令和元年度伊仙町一般会計歳入歳出決算	○	×	×	×	欠	×	欠	○	○	○	○	×	×	—	不認定
認2	令和元年度伊仙町国民健康保険特別会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	—	認定
認3	令和元年度伊仙町介護保険特別会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	—	認定
認4	令和元年度伊仙町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	—	認定
認5	令和元年度徳之島交流ひろば「ほーらい館」特別会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	—	認定
認6	令和元年度伊仙町簡易水道特別会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	—	認定
認7	令和元年度伊仙町上水道事業会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	—	認定
議58	令和2年度伊仙町一般会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
陳5	伊仙中部地区・東部地区海岸線の防潮堤の整備を求める陳情	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	—	採択
陳6	徳之島地区の県港湾工事発注における特定JV結成についての要望書	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	—	採択
発2	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	—	原案可決

【表の見方】 議：議案 認：認定 陳：陳情 発：発議 ◎：全会一致 ○：賛成 ×：反対 欠：欠席 —：表決権なし

※明石秀雄議員は議長職のため特別多数議決以外の議案については、表決(賛成、反対の意思表示)権はありません。

令和2年 第3回定例会

一般質問



美島 盛秀議員

町政及び町長の政治姿勢について

問

国による新型コロナウイルス感染症対策対応金での対策及び支援策に関し、町民に寄り添った対応が遅れているのはなぜか問う。

(町長)

答

伊仙町独自の対策をやっている。また、町としての発信が弱かったために、マスクミの誤解を

ではないか。各集落とのコミュニケーションは取りにくく、大きな弊害となっている。町長には大きく転換が望まれるが、どのように認識しているのか問う。

(町長)

答

今までの私の発言の中で、誤解を与えたと、本意ではなかったこと、失言等もあったと思うが、そのことをしっかりと反省しながら町民融和のためにやっていくことが今課せられた課題である。この質問を真摯に受け止め伊仙町の更なる躍進に向け議会ともしっかりと議論していきたい。

新庁舎建設について

問

伊仙町新庁舎整備基本構想及び基本計画が農業高校跡地利用から、現庁舎隣接地を購入して建設する案に変更したことは、長期ビジョンのなかつたことによる、独断専行と偏見による民意を無視したことではないのか。町長の見解を問う。

(町長)

答

熊本地震後、地震対策で有利な起債が活用できること、コロナ禍の中で各集落を回って十分な説明をする状況ではなかった。

問

検討委員会での進捗状況や今後の計画について問う。

(副町長)

答

設計業者の選定を行うための新庁舎プロポーザル審査会を11月に予定しており、その中で最終選考を行い、町民の声を聞きながら具体的な設計に入っていく。

平成30年度ブロック塀・冷房設備対応臨時交付金による空調設備設置工事入札について

問

この入札には不自然で疑問点がある。地元業者が1社も指名されず入札に参加できなかった。町内業者が参加できていなかったこと、指名委員会や入札後の落札結果など決裁時に確認してい

たのか問う。

(町長)

答

住所を見て町内業者でないとは理解できた。町内業者が参加していないことは把握していた。

問

地元業者育成や経済効果等の観点から政策に問題がある。この様なことを3月議会や6月議会で一般質問を行ったが、傍聴者からの野次、嫌がらせで正常な質問ができなかった。

(町長)

答

傍聴者の態度は間違っていると思うし、今後は厳重に注意していきたいと考えている。





福留 達也議員

町内進出企業等の現状と今後の展望について

問 この数年間、NPO法人を含め数社が伊仙町内において事業を立ち上げているが、これらの事業者の現状を問う。

答 (町長) 徳之島ビジョンが、伊仙町内において4階建てのホテル建設を計画している。

これまで様々な誘致活動を行ってきたが、なかなか実現できずにいたホテル建設事業である。現在のコロナ禍において、東京

等を取り入れ、かなりの改善効果を生み出し大きな注目を浴びている。このように全国的にも非常に先進的な取り組みが伊仙町から始まったということは大変画期的なことであると考える。



子どもたちへの療育のようす

問 それらの法人等が町内にあることによる伊仙町へのメリットを問う。

(地域福祉課長)

答 メリットとしては雇用の創出、そして人口流出の抑止、そして子供たちの移動時間の短縮等、

様々なメリットが生まれている。

問 今後も伊仙町内で継続していくための課題として、企業誘致条例の改正、期間を定めての固定資産税の免除、町内遊休地の活用、情報提供等々あると思うが、その他にどういったことがあるのかを問う。

(地域福祉課長)

答 介護福祉分野において は、介護スタッフの不足、人材育成が課題となっている。

歳入確保のあり方について

問 伊仙町一般会計歳入の約半分は国からの地方交付税でまかなわれ、そしてこの地方交付税の算定は、5年ごとに行われる国勢調査による伊仙町の住民数も基礎とされる。

国勢調査の行われる10月1日時点において、3ヶ月以上連続して入院や仕事等で、町外に滞在している場合、伊仙町の算定基礎数にはカウントされず、年

間一人当たり約30万円の交付税が、以降5年間、他町の財源となってしまうわけであるが、このことに対する現状認識と今後の対応を問う。

(町長)

答 伊仙町住民が、たまたま国勢調査時に他町の病院に3ヶ月以上入院していた場合、医療費の負担は全て伊仙町が負担するの、交付税(年間約30万円)は他町へ入っている現状である。このような仕組みに私は勿論、多くの方が矛盾を感じていることでもある。ですから我々は、入院中の本人や家族と相談して、「1日でも伊仙町に帰ってきていただけませんか」と、長期出稼ぎに行かれています方にも「1日でも帰ってきてもらえませんか」とお願いしている。これは違法でもありませんし、町の税収を増やすために担当職員にも頑張ってもらいたいと考えている。



牧本 和英議員

農業支援センターの運営について

問 令和元年度の実績及び導入された機械、設備等の活用について問う。

(経済課長)

答 令和元年度の実績として、農家からの土壌分析や地域福祉課の「むっじいらん教室」という農福連携事業での介護予防教室を行ったり、Aコープ隣の圃場でジャガイモの実証栽培や小中学校向けの出前講座等がある。

たい。

鳥獣被害対策事業について

問 先般、徳之島で初めて狩猟免許試験が行われ、伊仙町から31名が受験されたとのことであった。イノシシ対策に関してはこれまで一般質問や予算審議の中で多くの発言があったが、3町ともなかなか改善策が見つからない状況である。

(町長)

研修生については7月まで1名在籍していたが卒業し、今日に至るまで新たな研修生の募集をかけているが、厳しい現状である。

(町長)

支援センターを立ち上げ3年目になるが、研修生が1名卒業した状況で、今後指導者に関しては出身者を含め色々な方に当たっていききたい。また、「キノコにじいろクラブ」の子ども達と農業支援センターを活用した色々な取り組みも始まっており、もっと地域に貢献できるように努力していきたい。

していきたい。

糖業振興について

問 千ばつや塩害に対して、町はどのような対策をおこなっているのか問う。

(経済課長)

答 千ばつが予想される場合には、徳之島サトウキビ生産対策本部の幹事会を中心に千ばつ被害対策本部の設置の判断を行い、本部が設置された場合には防災無線で早めのかん水呼びかけ、各町糖業振興会において管理している散水器具の貸出し等を実施している。また、塩害対策としては、早めのかん水呼びかけ、他、今後は糖業係において暴風林の苗木の助成など抜本的な対策を検討していきたいと考えている。

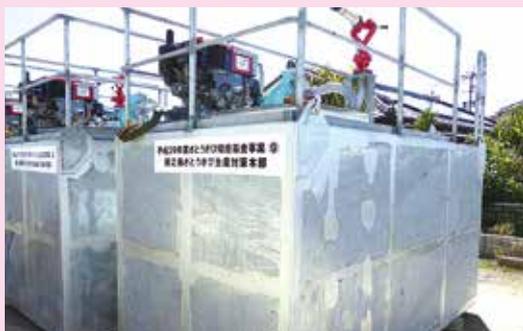
問 糖業振興会において、かん水タンクが購入されているとの事だが、伊仙町では何基所有しているのか。また、かん水にあたって、1反当たり

の農家負担額はいくらなのか問う。

(経済課長)

答 徳之島全体で9基あり、伊仙町では3基ある。今年度は8月の段階で濁水が予想されていたため、事前に1基準備していたが恵みの雨もあり稼働にまでは至らなかった。

農家負担額については、散水1回当たり8,000円かかる内、農家が4,000円、町が2,000円、JAが1,000円、南西糖業が1,000円の費用負担となっている。



平成29年に導入されたかん水タンク

農林水産直売所 百菜について



清 平二議員

の予算執行はできなかった。

(副町長)

令和元年第4回定例会で、

問 令和元年第4回定例会において直売所百菜への補填金として、1,853万2,000円が計上、議決されたが、なぜこれが執行されなかったのか問う。

答 令和2年3月30日付で直売所百菜に関する補填金及び代表者借入金について、その議決された予算の執行停止を求めた住民監査請求があり、同予算は暫定的執行停止状態にあり、令和元年度

1,853万2,000円を補填金ということで予算化していただいたが、この執行にあたって議会の方から、代表者借入についても補填すべきじゃないかという意見が出た。その後令和2年第1回定例会において、代表者借入分の補填金も予算計上し、議決を得たわけであるが、執行するところから、精査が必要であるということとさらに問題が大きくなるという事等が危惧され、執行できなかった。

問

代表者借入が云々ではなく、第4回定例会で議決されてからその後の3月までの期間、処理が何にもされていないのではないかと。精査とも言っているが、町から百菜への貸付金500万円の残り360万円もはつきりしており、この処理さえされていないのでどうしてかと聞いている。それだけでも問題が解決してははずである。

今後この問題をどのようにして解決していく考えなのか問う。

(副町長)

答

町の貸付金も補填金という形の中に入っており、裏付けがはつきりしているから返せばいいという所ではあるが、一括ではなく、部分的に整理できるのかも一つ問題ではないかと考えられる。

新百菜が旧百菜の処理に係わっている部分に関しては、裏付けが取れたものについては、経済課を含め町としてしっかり精査し、処理していかなければいけないと考えている。

(経済課長)

再度精査をした上で、改めて補填金を予算計上し、お願いをしたいと考えている。

問

現百菜との年度協定書が令和2年8月25日に締結されているが、この中で管理施設料について月額30万円とする。と定められているが、今回の令和2年度伊仙町一般会計補正予算(第3号)の中に歳入として入っていないのはなぜか問う。

(経済課長)

答

この年度協定書が締結されたのが8月25日であり、今回の補正予算の締切りに間に合わず、計上できなかったため、次回の補正予算で計上したい。



～お詫びとお知らせ～

前回の「議会だより第67号」の2ページにおきまして、議員名の表記に誤りがありました。「榊山 一議員」の氏名が、「横山 一議員」と表記されておりました。

改めまして、お詫びとお知らせを致します。申し訳ございませんでした。



農林水産直売所 百菜

令和2年 第3回 伊仙町議会定例会 令和元年度 伊仙町一般会計他6特別会計 歳入歳出決算審査 特別委員会 現地調査のようす



中山地区飲料水供給施設



日本マルコ(株)



キノコにじいるクラブ



農業支援センター「青緑の里」



第二鹿浦橋



愛ランドクリーンセンター

次回の定例会は12月です！！

次回の定例会(第4回)は12月8日(火)からを予定しています。ネット配信も行なっておりますが、ぜひ、生の議会を傍聴してみませんか。手続きは簡単で、議会の当日に傍聴席入り口の受付票に、住所、氏名を記入していただくだけです。詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

電話番号86-3111(内線16番)



有機物供給センター

議会の動き

令和2年第3回伊仙町議会定例会における諸般の報告(議長の動静)
 動静期間: 令和2年第3回定例会(6月12日)以降の分

月	日	行事名	場所	月	日	行事名	場所
6月	30日	空港利用促進協議会	天城町役場	8月	6日	夏植出發式	役場
7月	6日	令和3年度公立高校生徒募集地区説明会	与論町	9月	1日	令和2年第3回定例会告示	
	14日	伊仙町畑総推進支援協議会	委員会室		8日	令和2年第3回定例会開始	議場
	16日	徳之島3力町議会議員連絡協議会役員会	委員会室	※掲載されている行事以外にも、各種協議会及び集落行事等にも出席しておりますが、予めご了承下さい。			
	27日	令和2年度徳之島地域バス路線対策協議会	天城町				

故 上木廣志氏に特別叙勲



元伊仙町議会議員として、地方自治の育成発展に貢献された上木廣志氏(令和2年7月9日逝去・享年84歳)に、このほど特別(死亡)叙勲の旭日単光章が授与され、9月14日の本会議前に議会議事堂において、ご家族(長男強嗣氏)に叙勲の伝達式がおこなわれました。

上木氏は、平成8年に伊仙町議会議員に初当選後、平成22年の任期満了まで4期約13年間にわたり在職し、卓越した識見と軽妙洒脱な言葉と指導力をもって常に人々の先頭に立ち、町勢発展に尽力されました。

※特別(死亡)叙勲は、公共のために貢献された各界の功労者のうち、春秋叙勲で勲章を授与されていないうちに亡くなられた方に授与されます。

編集後記

早いもので今年もあっという間に年の瀬が感じられる今日この頃、町民の皆様いかがお過ごしでしょうか。私自身、年を重ねるごとに月日が経つのが早く感じるようになりました。

今年はまだに「コロナに始まり、コロナに終わる。」といった1年になったのではないのでしょうか。東京オリンピックや、かごしま国体の延期、伊仙町においても、ほーら祭りや町民体育祭等の各種イベントが縮小や中止となりました。また11月中旬に入り、全国では1日のコロナ感染者数が最多更新を続けるなど、新型コロナウイルス感染症は私たちの生活様式を一変させる、とても大きな出来事となっております。

このような状況下でも、「災い転じて福となす」ということわざがあるように、可能な取組みを模索する契機とし、町民一人ひとりが出来ることを着実に実行し、一日も早い新型コロナウイルス感染症の終息と新たな年を迎えられるようお願いいたします。「議会だより いせん 68号」をお届けします。

(文責 杉山 肇)

議会広報編集委員会



- 委員長 前 徹志
- 副委員長 杉山 肇
- 委員 岡林 剛也
- 委員 上木 千恵造
- 委員 佐田 元